

I. 目的（定款第 3 条）

本法人は、会員相互並びに国内外の関連団体との交流を深め、顎関節学に関する基礎的及び臨床的研究、教育及び診療についての会員の能力向上を図るとともに、それにより地域社会における口腔の健康の維持と向上に貢献し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを会員共通の目的として、次の事業を行った。

- （1）学術大会の開催に関する事業
- （2）研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催
- （3）機関誌、及びその他の出版物の刊行
- （4）顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業
- （5）顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する研修機関等および研修制度の整備
- （6）顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
- （7）顎関節疾患に関する調査並びに合同研究
- （8）国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流
- （9）顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業
- （10）研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰
- （11）その他本法人の目的を達成するために必要な事業

II. 学術大会の開催に関する事業（定款第 3 条 1 項）

1. 第 38 回学術大会

- 1) 会期：2025 年 7 月 11 日（金）～13 日（日）
- 2) 形式：学術総合センター（一橋大学一橋講堂）（東京）
- 3) 大会長：小見山道（日本大学 松戸歯学部 顎口腔機能補綴学講座 教授）
- 4) 参加者：763 名（会員 631 名、準 33 名、非会員 76 名、医療スタッフ 6 名、学生 4 名、海外 8 名、非会員歯科衛生士 5 名）
- 5) メインテーマ：
「顎関節の未来に向かって - 今、わかっていること、わかっていること-」
- 6) 演題：
 - ①企画演題
シンポジウム 11 題
覚道健治賞受賞講演
ハンズオンセミナー 1, 2, 3, 4
ランチョンセミナー 1, 2
 - ②一般演題
一般口演 24 題
ポスター 44 題

Ⅲ. 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催（定款第3条2項）

1. 第62回学術講演会

開催日：2025年6月1日（日） 開催形式：web開催（zoom）

【「顎関節症：標準治療を行うための新たなキーポイント

専門家グループによる顎関節症管理のための標準治療」を深める1日セミナー】

パート1：顎関節症の疫学と病因論

講師：西山 暁 先生（東京科学大学大学院 医歯学総合研究科

総合診療歯科学分野）

パート2：顎関節症の診断

講師：渡邊 友希 先生（昭和医科大学 歯学部歯科補綴学講座

顎関節症治療学部門）

パート3：TMD 治療時の一般原則と保存的治療

講師：山口 賀大 先生（愛知学院大学 歯学部

冠橋義歯・口腔インプラント学講座）

パート4：顎関節症における専門的治療－外科的療法とその適応を中心に－

講師：大井 一浩 先生（金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科

外科系医学領域顎顔面口腔外科学分野）

パート5：口腔顔面痛のより広い側面からみた顎関節症

講師：村岡 渡 先生（川崎市立井田病院 顎関節・口腔顔面痛外来）

参加者数：179名（正会員163名、準会員2名、研修医8名、非会員6名）

2. 第63回学術講演会

開催日：2025年10月26日（日） 開催形式：web開催（zoom）

【顎関節症における慢性疼痛に対応する】

パート1：三叉神経領域における慢性疼痛のメカニズムと対応へのヒント

講師：小見山 道 先生（日本大学松戸 歯学部 顎口腔機能補綴学講座）

パート2：一般臨床でこそ必要な慢性疼痛への理解と対応

～顎関節症をこじらせないために～

講師：臼田 頌 先生（慶應義塾大学 医学部 歯科・口腔外科学教室）

パート3：慢性疼痛のための医療面接、コミュニケーションスキル

講師：渡邊 友希 先生

（昭和医科大学 歯学部歯科補綴学講座顎関節症治療学部門）

パート4：慢性疼痛を生じる顎関節疾患の鑑別

講師：佐藤 仁 先生

（昭和医科大学 歯学部 口腔外科学講座 顎顔面口腔外科学部門）

パート5：慢性疼痛を生じた顎関節症への対応（症例提示を中心に）

講師：村岡 渡 先生（川崎市立井田病院 顎関節・口腔顔面痛外来）

参加者数：117名（正会員112名、準会員2名、研修医1名、非会員2名）

3. 第64回学術講演会

開催日：2025年12月21日（日） 会場：鶴見大学会館

【顎関節腔穿刺法ハンズオンセミナー】

パート1：「総論：顎関節腔穿刺治療の現在地」

講師：石井 広太郎 先生（飯塚病院 歯科口腔外科）

パート2：「顎関節腔穿刺に必要な解剖・画像解剖」

講師：松本 邦史 先生（日本大学歯学部 歯科放射線学講座）

パート3：「顎関節疾患におけるパンピング／上関節腔洗浄療法と分子生物学的解析」

講師：野上 晋之介 先生（東北大学大学院 歯学研究科顎顔面・口腔外科学分野）

パート4：「顎関節症治療における外科的療法の介入に関するスコーピングレビュー」

講師：安部 貴大 先生（自治医科大学医学部 総合医学部第2講座）

パート5：「関節腔穿刺の実際と顎関節開放手術」

講師：岡本 俊宏 先生（東京女子医科大学 医学部歯科口腔外科学教室）

参加者数：36名（正会員29名、非会員7名）

4. 第65回学術講演会

開催日：2026年2月1日（日） 開催形式：web開催（zoom）

【ライフステージで読み解く顎関節症 一ゆりかごから老年期まで～】

パート1：顎関節の成長・成熟・老化 ～一生を通じた構造変化の理解～

講師：塩崎一成 先生（日本大学 松戸歯学部 解剖学講座）

パート2：小児育成系における顎関節

講師：廣瀬 尚人 先生（広島大学病院口腔健康発育歯科 矯正歯科）

パート3：仕事、子育て世代の顎関節症

講師：臼田 頌 先生（慶應義塾大学 医学部 歯科・口腔外科学教室）

パート4：中高年における心身の変化と顎関節症

講師：西山 暁 先生（東京科学大学大学院 医歯学総合研究科

総合診療歯科学分野）

パート5：高齢者の顎関節障害～退行性変化と脱臼への包括的対応～

講師：大井 一浩 先生（金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科

外科系医学領域顎顔面口腔外科学分野）

参加者数：136名（正会員123名、準会員7名、研修医4名、非会員2名）

5. 第66回学術講演会

開催日：2026年5月24日（日） 開催形式：web開催（zoom）

【顎関節症の原因療法と対症療法～ブラキシズムへの対応から外科療法まで～】

パート1：顎関節症の検査と診断、原因療法と対症療法の考え方

講師：小見山 道 先生（日本大学 松戸歯学部 顎口腔機能補綴学講座）

パート2：睡眠時ブラキシズムへの対応と口腔内装置によるマネジメント

講師：飯田 崇 先生（日本大学 歯学部 歯科補綴学第Ⅱ講座）

パート3：原因療法としての日常生活指導と覚醒時ブラキシズムへの対応

講師：西山 暁 先生（東京科学大学大学院 医歯学総合研究科

総合診療歯科学分野 東京科学大学病院 顎関節症外来）

パート4：顎関節症の理学療法と薬物療法

講師：村岡 渡 先生（恵比寿あごと歯のクリニック

／川崎市立井田病院歯科口腔外科）

パート5：顎関節症の外科治療（顎関節腔穿刺から関節鏡視下手術まで）

講師：高原 楠旻 先生（横浜歯科口腔外科クリニック）

参加者数：132名（正会員117名、準会員5名、研修医4名、学部学生1名、非会員5名）

IV. 機関誌、及びその他の出版物の刊行（定款第3条3項）

- 日本顎関節学会雑誌：4回発行（うち1回は大会抄録集）
第37巻特別号（第38回学術大会号）（2025年7月発行）
第37巻2号（2025年8月発行）
第37巻3号（2025年12月発行）
第38巻1号（2026年4月発行）
Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology (JOMSMP)

V. 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業（定款第3条4項）

【新規認定】

＜専門医および指導医＞

指導医3名、専門医2名を新たに認定した。

＜暫定指導医＞

申請者3名中3名を新たに認定した。

＜認定医＞

申請者15名中15名を合格とした。

（内13名は研修機関に在籍するため書類審査合格、2名は研修機関に在籍しないためポスタープレゼンテーション審査を更に受審し、合格とした。）

＜研修機関＞

計1施設の申請があり、関連研修施設1施設を研修機関として認定した。

＜認定歯科衛生士＞

受験者11名中10名を合格、1名を条件付き合格（2026年の認定歯科衛生士講習会あるいは歯科衛生士セミナーの受講＋レポート提出）とした。

【更新認定】

2025年12月31日が認定期限となる方々の資格更新審査を実施。

＜対象者および結果＞

- 専門医および指導医の両資格：22名中18名の更新を承認。3名は保留。1名は更新しない。
- 指導医：4名中4名の更新を承認。
- 専門医：58名中44名の更新を承認。9名は保留。5名は更新しない。
- 暫定指導医：25名中14名の更新を承認。4名は保留。7名は更新しない。
- 研修機関：41施設中21施設の更新を承認。9施設は保留。11施設は更新しない。
- 認定医：13名中6名の更新を承認。4名は保留。3名は更新しない。

【認定医／暫定指導医】

2025年10月19日（日）ステーションコンファレンス東京

顎関節の臨床解剖（解剖・口腔外科） 講師：塩崎 一成 先生

顎関節の画像診断（歯科放射線科） 講師：後藤多津子 先生

DC/TMDに準拠した顎関節症の診察（補綴）講師：築山能大 先生

初期診療ガイドライン（補綴：スプリント療法、開口練習）講師：安部貴大 先生

全講義終了後に試験を実施

認定医は25名中17名を合格、7名を条件付き合格（学術講演会受講1回）、1名を不合格と判定した。暫定指導医は3名中3名を合格とした。

【歯科衛生士セミナー】

2025 年 6 月 22 日（日）に zoom 形式で実施した。

10:00～10:30	医療面接	講師：島田淳 先生
10:30～11:00	日常生活指導・習癖指導	講師：和気創 先生
11:00～11:30	疼痛が関連した顎関節症の診断と治療	講師：原節宏 先生
11:30～12:00	顎関節円板障害の診断と治療	講師：藤田宏人 先生
12:00～12:30	変形性顎関節症の診断と治療	講師：川上哲司 先生

13 名が受講した。

【認定歯科衛生士資格 口頭試問】

2025 年 11 月 30 日（日）に zoom 形式で実施した。

11 名からの申請があり、10 名が合格、1 名が条件付き（2026 年の認定歯科衛生士講習会あるいは歯科衛生士セミナーの受講＋レポート提出）と判定した。

【認定歯科衛生士講習会】

2026 年 4 月 12 日（日）に zoom 形式で実施した。

10:00～10:15	認定歯科衛生士資格に関する説明	講師：佐藤 文明 先生
10:15～10:45	顎関節症の基本知識	講師：島田 淳 先生
10:45～11:15	顎関節症の診察と診断	講師：澁谷 智明 先生
11:15～11:45	顎関節症の治療	講師：川上 哲司 先生
11:45～12:15	顎関節症のチームアプローチ	講師：佐藤 文明 先生

8 名が受講した。

VI. 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業（定款第 3 条 6 項）

- 日本顎関節学会総会・学術大会
- 学術講演会
- 顎関節症患者のための初期治療診療ガイドラインの制定
- 認定歯科顎関節症専門医、指導医、認定医、認定歯科衛生士制度の運用
- 学会賞の選考

VII. 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究（定款第 3 条 7 項）

- 超高齢者施設における顎関節障害とオーラルフレイル・フレイルとの関連についての疫学調査
- 日本国民ならびに医師・歯科医師における顎関節症専門医の必要性に関するアンケート調査
- 全国レベルでの顎関節症症状保有率に関するアンケート調査
- 日本における顎関節症の画像診断の信頼性の検証

VIII. 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流（定款第 3 条 8 項）

- 大韓顎関節協会
2025 年 7 月 12 日に（日本顎関節学会第 38 回学術大会期間中）に合同理事会を実施し、
2025 年 12 月 7 日に、韓国ソウルで日韓合同セッションを実施した。
- アジア顎関節学会
2025 年 9 月 27 日～28 日 SMX コンベンション・センター（フィリピン・マニラ）において第 8 回アジア顎関節学会が開催された。

IX. 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業（定款第 3 条 9 項）

- 学術大会の運営

X. 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰（定款第3条10項）

- 令和7年度学会賞特別賞
 - 1) 田口 望（田口歯科医院）
 - 2) 矢谷博文（大阪大学）
- 令和7年度学術奨励賞・覚道健治賞（最優秀賞）
該当者なし
- 令和7年度学術奨励賞・小林馨賞（優秀賞）
該当者なし

XI. その他本法人の目的を達成するために必要な事業（定款第3条11項）